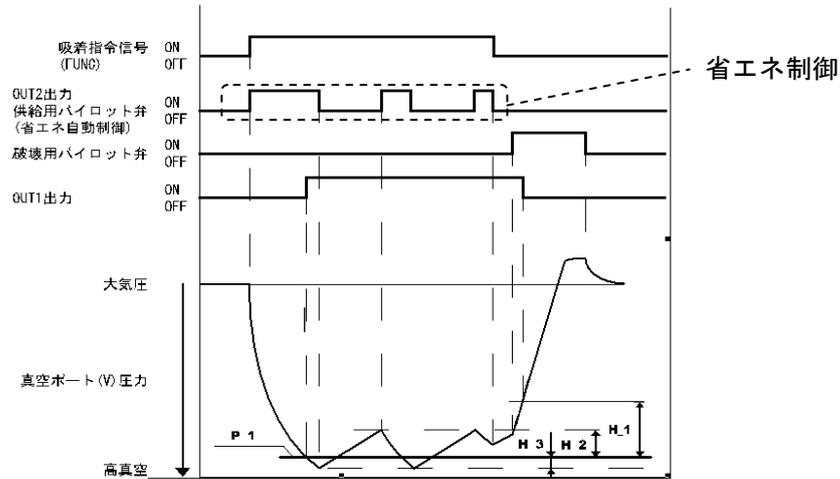


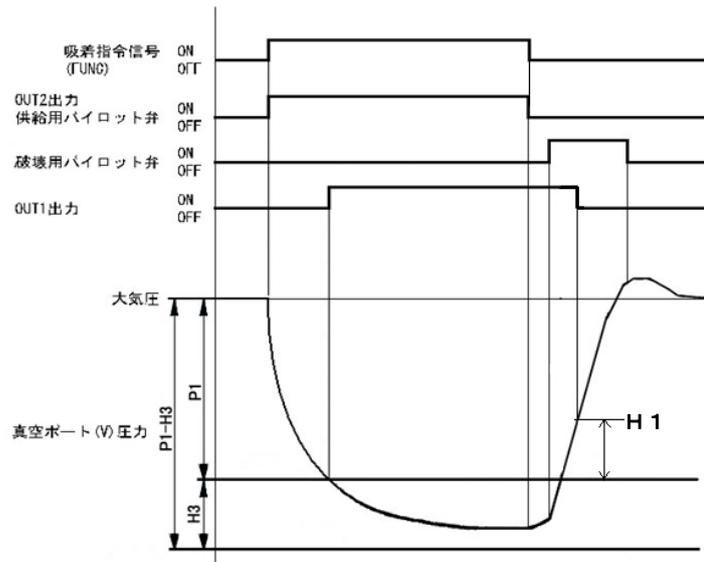
■ ZK2 省エネ制御付真空エジェクタ 「省エネ制御機能停止方法」について

ワーク吸着面の漏れが多い場合、省エネ制御（真空発生/停止のバルブON/OFF）が頻繁に起こることがあります。このような場合、スイッチの設定を変更することで省エネ制御を行わなくすることが可能で、それによって上記現象は起こらなくなります。以下にその方法を記します。

通常の省エネ制御



省エネ制御を停止させる方法



省エネ機能を停止させる場合、 H_3 の値が $P_1 - H_3 \leq -100$ となるよう設定してください。
 なお、 H_3 の設定方法は ZK2-0M00401 の取扱説明書、「機能の設定・・・[F2] OUT2 の設定」をご参照ください。次ページに取扱説明書の抜粋を記します。

例) P_1 ・・・60kPa で設定してある場合、 H_3 に 45 と入力。

[$P_1 - H_3 = -60 - 45 = -105$ となり、省エネ機能が作動する真空圧に実質到達できない設定となる]

※ $P_1 - H_3$ の値は-105 が最少で、それ以下になる H_3 の数値は入力できません。

※ P_1 の値を変更したい場合は、その都度、 $P_1 - H_3 \leq -100$ となるように H_3 の値も変更して下さい。

■ [F 2] OUT2の設定

OUT2の設定をします。

出力反転、供給用パイロット弁のON点、OFF点、入力禁止範囲の設定を行ないます。

OUT2の動作

吸着指令信号により供給用パイロット弁：OUT2をONし、真空を発生させ吸着を開始します。

真空度が設定値 ($P_1 - H_3$ ：供給用パイロット弁信号OFF点)に達すると、供給用パイロット弁をOFFします。

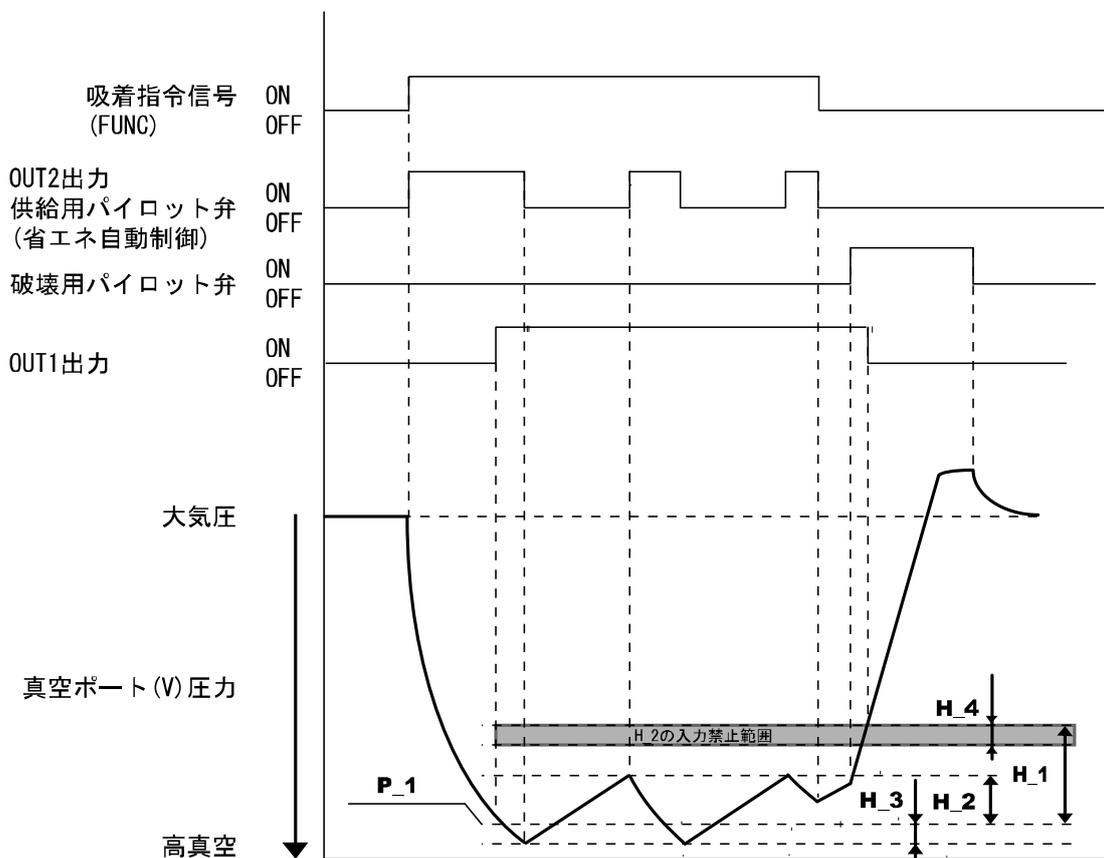
その後、真空度が低下し、吸着スイッチON点 ($P_1 + H_2$ ：供給用パイロット弁信号ON点)になると、再度供給用パイロット弁がONし真空度を保持します。

以降、供給用パイロット弁はON、OFFを繰り返します。

H_2 の設定禁止領域を H_4 ：供給用パイロット弁信号入力禁止範囲にて設定することが可能です。

(設定は、 $H_1 \geq H_2 + H_4$ となります。)

工場出荷時は、 P_1 ：-70.0 kPa、 H_1 ：10.0 kPa、 H_2 ：5.0 kPa、 H_3 ：0.0 kPa、 H_4 ：1.0 kPaに設定されております。



<操作方法>

ファンクション選択モード時に、**[A]**または**[V]**ボタンを操作し、[F 2]を表示させてください。

[S]ボタンを押して設定 ↓ 出力反転の設定に移ります。

出力反転の確認

設定値が右図のように表示されることを確認して次の設定に移行してください。

設定値が右図のように表示されない場合は、

[A]または**[V]**ボタンを押して表示を切替えてください。



[S]ボタンを押して設定 ↓ 圧力の設定に移ります。

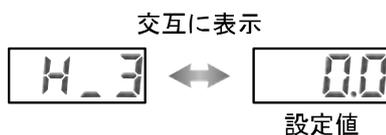
[A]または**[V]**ボタンを押して、設定点を選びます。

供給用パイロット弁のON点の設定



[S]ボタンを押して設定 ↓ ファンクション選択モードに移ります。

供給用パイロット弁のOFF点の設定



[S]ボタンを押して設定 ↓ ファンクション選択モードに移ります。

供給用パイロット弁のON点の入力禁止範囲の設定



[S]ボタンを押して設定 ↓ ファンクション選択モードに移ります。

[F 2] OUT2の設定完了

※1：選択した項目は**[S]**ボタンを押した後、有効となります。

※2：**[S]**ボタンで設定を有効とした後、2秒以上**[S]**ボタンを押し続けると測定モードに移動することが可能です。

※3：供給用パイロット弁のON点の入力禁止範囲の設定(H_4)により供給用パイロット弁のOFF点(H_2)が自動的に補正されます。